



## 2022年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 ウルトラファブリティクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4235 URL <https://www.ultrafabricshd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 昇  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 河辺 尊 TEL 042-644-6515  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	8,952	40.2	1,245	187.0	1,254	233.3	901	280.8	901	280.8	1,979	204.4
2021年12月期第2四半期	6,387	39.1	434	202.5	376	-	237	-	237	-	650	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	94.93	92.44
2021年12月期第2四半期	27.55	26.69

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	35,312	13,884	13,884	39.3
2021年12月期	31,382	12,079	12,079	38.5

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	-	0.00	-	28.00	28.00
2022年12月期	-	0.00	-	-	-
2022年12月期（予想）	-	-	-	34.00	34.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「（参考）種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,600	31.6	2,700	82.3	2,500	85.6	1,700	72.4	1,700	72.4	179.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2022年8月12日）公表いたしました「2022年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期2Q	7,830,600株	2021年12月期	7,786,200株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	339,618株	2021年12月期	339,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期2Q	7,458,899株	2021年12月期2Q	6,554,426株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（参考）種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	—	—	30.00	30.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	37.00	37.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、前年から続く原油やその他原材料価格の上昇、サプライチェーンの混乱などがロシアのウクライナ侵攻によりさらに悪化し、世界中で物価上昇を引き起こしました。インフレ抑制のために各国で金融引き締め動きが続いています。中国では厳格なゼロコロナ政策による都市封鎖もあって経済成長率が大幅に鈍化しました。また、米国も物価高による個人消費の減速や急速な利上げによる住宅投資の冷え込みで2四半期連続のマイナス成長となり、雇用は引き続きタイトな状態ではあるものの、景気後退の警戒感が高まっています。

このような状況下、全ての用途向けの販売が堅調な中、円安で推移したことにより、第2四半期の売上は前年同四半期を大幅に上回りました。原材料の高騰や輸送コストの上昇に加えて、クレーム対応費用、株式報酬費用、米子会社における人件費等の増加があったものの、円安、製品構成の良化、生産量増加に伴う工場稼働の改善、為替差益等により、第2四半期の利益面においても前年同四半期を大幅に上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益89億52百万円(前年同四半期比40.2%増)、営業利益12億45百万円(前年同四半期比187.0%増)、税引前四半期利益12億54百万円(前年同四半期比233.3%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益901百万円(前年同四半期比280.8%増)となりました。

用途別の売上収益の概況は、次のとおりであります。

#### ①家具用

住宅向けや販売店向けが在庫不足と最近のインフレや景気減速の影響を受けたものの、ホームオフィス関連需要とオフィスの改装需要が背景にコントラクト家具とヘルスケア向けは大手顧客の需要が旺盛となり、家具向け全体の販売は前年同四半期を上回りました。

この結果、家具用の売上収益は26億2百万円(前年同四半期比33.7%増)となりました。

#### ②自動車用

シート用素材分野における自動車メーカーへの大幅な販売増が寄与し、自動車向け全体は前年同期比で大幅に拡大しました。

この結果、自動車用の売上収益は34億83百万円(前年同四半期48.0%増)となりました。

#### ③航空機用

ビジネスジェット向けが大きく拡大し、民間航空機向けも小幅ながらの伸びを見せたことから、航空機向け全体では前年同期比で大幅増となりました。これは航空業界全体として更新需要が活発なことに起因しています。

この結果、航空機用の売上収益は6億86百万円(前年同四半期比63.2%増)となりました。

#### ④その他

堅調な消費動向を背景に、RV、船舶等のレジャー関連向けはいずれも受注残解消需要が強く大幅な伸びを記録し、アパレル向けは供給が追い付かない状態ながらも、品質が高く評価されており引き続き堅調だったことから、全体としては前年同四半期を上回りました。

この結果、その他売上収益は21億81百万円(前年同四半期比30.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は353億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億30百万円増加いたしました。これは主に、売上高増加による売上債権及び棚卸資産が増加、為替相場が円安基調で推移した影響よりのれん及び無形資産が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は214億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億25百万円増加いたしました。これは主に、運転資金調達により有利子負債が増加したことによるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は138億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億4百万円増加いたしました。これは主に剰余金の配当があったものの、四半期純利益の計上及びその他の資本の構成要素の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6億91百万円減少し28億29百万円となりました。これは主に税引前四半期利益の計上、減価償却費及び償却費の計上があったものの、棚卸資産及び営業債権及びその他の債権の増加、営業債務及びその他の債務の減少、固定資産の取得による支出及び配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年2月14日の「2021年12月期決算短信」で公表いたしました第2四半期業績予想と実績値に差異が生じております。また、通期の連結業績予想を修正しております。

詳細については、本日（2022年8月12日）公表いたしました「2022年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,520	2,829
営業債権及びその他の債権	2,278	3,063
その他の金融資産	263	234
棚卸資産	3,032	4,099
その他の流動資産	438	542
流動資産合計	9,531	10,767
非流動資産		
有形固定資産	4,749	4,859
使用権資産	1,015	1,042
のれん	8,222	9,771
無形資産	6,499	7,400
その他の金融資産	1,090	1,265
繰延税金資産	275	205
その他の非流動資産	0	2
非流動資産合計	21,851	24,545
資産合計	31,382	35,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
有利子負債	6,268	7,890
リース負債	162	176
営業債務及びその他の債務	1,607	1,907
その他の金融負債	202	290
未払法人所得税等	369	382
引当金	361	278
その他の流動負債	306	269
流動負債合計	9,277	11,191
非流動負債		
有利子負債	8,363	8,406
リース負債	876	892
退職給付に係る負債	231	244
引当金	18	18
繰延税金負債	423	538
その他の非流動負債	115	139
非流動負債合計	10,026	10,237
負債合計	19,303	21,428
資本		
資本金	2,189	2,265
資本剰余金	2,552	2,565
利益剰余金	7,560	8,197
自己株式	△182	△182
その他の資本の構成要素	△39	1,038
親会社の所有者に帰属する持分合計	12,079	13,884
資本合計	12,079	13,884
負債及び資本合計	31,382	35,312



(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	6,387	8,952
売上原価	△3,719	△4,546
売上総利益	2,667	4,407
販売費及び一般管理費	△2,230	△3,155
その他の収益	2	8
その他の費用	△6	△15
営業利益	434	1,245
金融収益	134	445
金融費用	△191	△436
税引前四半期利益	376	1,254
法人所得税費用	△140	△353
四半期利益	237	901
四半期利益の帰属 親会社の所有者 四半期利益	237	901
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	27.55	94.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	26.69	92.44

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	3,424	4,764
売上原価	△1,989	△2,202
売上総利益	1,434	2,563
販売費及び一般管理費	△1,214	△1,603
その他の収益	2	6
その他の費用	△3	△14
営業利益	220	953
金融収益	37	271
金融費用	△121	△246
税引前四半期利益	136	978
法人所得税費用	△11	△241
四半期利益	126	737
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	126	737
四半期利益	126	737
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.60	77.51
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	14.05	74.96

(要約四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	237	901
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	94	285
在外営業活動体の換算差額	319	793
項目合計	414	1,078
その他の包括利益合計	414	1,078
四半期包括利益	650	1,979
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	650	1,979
四半期包括利益	650	1,979

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	126	737
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	14	106
在外営業活動体の換算差額	△23	442
項目合計	△9	548
その他の包括利益合計	△9	548
四半期包括利益	117	1,284
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	117	1,284
四半期包括利益	117	1,284

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2021年1月1日残高	1,487	2,305	6,744	△221	△734	9,581	9,581
四半期利益	—	—	237	—	—	237	237
その他の包括利益	—	—	—	—	414	414	414
四半期包括利益合計	—	—	237	—	414	650	650
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	△0
ストック・オプションの行使	—	△5	—	40	—	35	35
剰余金の配当	—	—	△171	—	—	△171	△171
株式に基づく報酬取引	43	△7	—	—	—	36	36
所有者との取引額等合計	43	△12	△171	40	—	△100	△100
2021年6月30日残高	1,530	2,293	6,810	△182	△320	10,131	10,131

当第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2022年1月1日残高	2,189	2,552	7,560	△182	△39	12,079	12,079
四半期利益	—	—	901	—	—	901	901
その他の包括利益	—	—	—	—	1,078	1,078	1,078
四半期包括利益合計	—	—	901	—	1,078	1,979	1,979
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	△0
剰余金の配当	—	—	△264	—	—	△264	△264
株式に基づく報酬取引	77	13	—	—	—	90	90
所有者との取引額等合計	77	13	△264	△0	—	△175	△175
2022年6月30日残高	2,265	2,565	8,197	△182	1,039	13,884	13,884

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	376	1,254
減価償却費及び償却費	682	742
金融収益	△134	△445
金融費用	191	436
固定資産除売却損益 (△は益)	1	13
棚卸資産の増減額	△214	△565
営業債権及びその他の債権の増減額	△372	△342
営業債務及びその他の債務の増減額	408	△405
その他	53	△406
小計	992	282
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△155	△158
法人所得税の支払額	△12	△361
法人所得税の還付額	121	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	946	△236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△414	△455
無形資産の取得による支出	△43	△29
その他	△4	260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△1,000	1,733
短期借入れによる収入	985	1,378
短期借入金の返済による支出	—	△1,924
長期借入金の返済による支出	△866	△1,153
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△131	△264
リース負債の返済による支出	△91	△93
その他	35	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,068	△329
現金及び現金同等物に係る換算差額	88	99
現金及び現金同等物の増減額	△495	△691
現金及び現金同等物の期首残高	3,049	3,520
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,553	2,829

- （5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
（継続企業の前提に関する注記）  
該当事項はありません。